



## 直営免税店 保税倉庫の建設について

当社は昨年度より、戦略的成長プログラムを掲げ、事業価値の向上に取り組んでおります。その重要課題の一つターミナル成長戦略における重点プロジェクトとして、免税店舗の大幅な増床、及び大阪国際空港ターミナル株式会社グループ（以下「OAT」）との連携等により、「魅力ある商業エリア」の創造を推進しております。

本年2月から一般物販については、当社からOATグループに全面的に外部委託することにより、OATのノウハウを活用した収益力強化を図りました。また、今年度より、直営免税店運營業務の委託先をグループ会社である株式会社関西エアポートエージェンシー（以下「KAA」）に変更し、自主運営を開始いたしました。

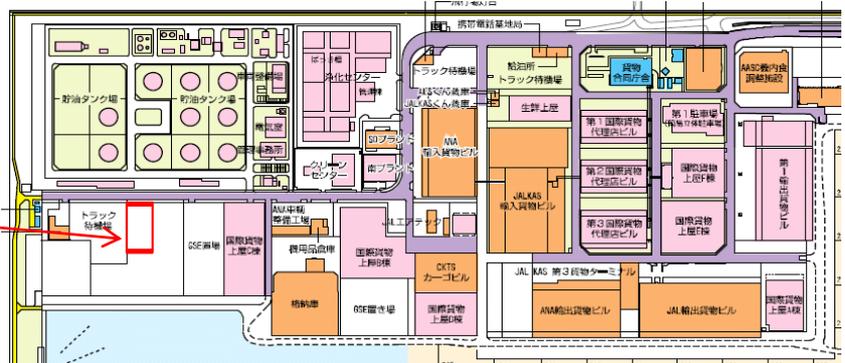
これに伴い、商品をブランドから直接仕入れ、仕入原価を低減しグループ利益の拡大を図ります。直接仕入れにより今後増加する商品保管量に対応するため、下記のとおり直営免税店の保税倉庫を建設することといたしましたのでお知らせします。

この保税倉庫は、2014年6月頃の運用開始を予定しております。

### 1. 倉庫概要

- 建設予定地 : 1期島 国際貨物地区
- 敷地面積 : 約 5,000 m<sup>2</sup>
- 倉庫面積 : 約 3,000 m<sup>2</sup>
- 運用開始時期 : 2014年6月頃

新保税倉庫 建設予定地  
面積: 約 3,000 m<sup>2</sup> (敷地: 約 5,000 m<sup>2</sup>)



### 2. 建設の目的

以下、3点の理由により、当保税倉庫を建設することといたします。

- ① 仕入れ方法変更による商品保管量の増加  
運營業務委託先の変更に伴い、KAA がブランドから直接商品を仕入れることにより商品保管量が大幅に増加。
- ② 直営店舗数の増加  
免税店の自主運営化による直営店舗の増加（第1ターミナルビル内6店舗→9店舗）。
- ③ 将来の拡張性の確保  
魅力ある商業エリアの創造とインバウンド旅客の取込みの実現を目指し、計画する直営免税店舗の増床に対応。